

No.9

2011.7.28

すべての人に喜びの歌を

第九たいむず

通刊 948 号

担当 UM25K

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233(団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673(事務局長中村)



「群馬音楽センター」について考える 群馬音楽センター開館50周年記念 連続シンポジウム
に出席された皆様、お疲れさまでした。ご意見・ご感想などを「たいむず」にお寄せください。♥

◆ 新人さんの一言 No②



ソプラノ: 瀧川幸恵「たきがわ ゆきえ」

伝統ある高崎第九合唱団で、皆様のお仲間に入れていただくことができとても嬉しく思っています。が…あまりのレベルの高さに緊張しています。沢山の方が暗譜で、しかも生き生きと歌っている姿に、改めて音楽を愛する心のすばらしさを実感しています。第九合唱団の初演を聴かせていただいてから38年、諸先輩方と同じステージにたつために、また新しい方達と一緒に第九の魅力を伝えていけるよう、少しでもお手伝いできたと思っています。よろしくお願いいたします。



ソプラノ: 本木憂子「もとき ゆうこ」

今年3月に入団させて頂きました、本木です。昨年末皆様の第九演奏会を聴いて大変感動し、今、皆様の中に入れて頂き一緒に歌っていること、幸せに感じております。赤羽先生、ユリヤ先生はじめ素晴らしいプロの音楽家が沢山いらっしゃる中で練習できるのは貴重な経験だと思います。12月の音楽センターの舞台上、皆様と一緒に輝けるよう精一杯頑張っています。よろしくお願いいたします。



ソプラノ: エリザベス パロウズ (Elizabeth Burrows)

私はイギリス人です。日本にさんかげつまえにきました。えいごのせんせいです。とてもおもしろくにですから、日本をえらびました。こうこうのさいごの PROJECT はきものをデザインしました。そしてみやざきはやおのえいががすきです。イギリスでがっしょうだんのだんいんでした。うたうことがすきです。日本にきてから、CHARITY CONCERT をみました。それからだんいんになりました。とてもたのしいです。

[タイプミス訂正] 前号で猿谷先生のお名前を「さるゆや…」と表示しましたが、正しくは「さるや…」です。

◆ 出席簿ができました。必ず押印してください。

7月より出席簿ができましたので、必ず出席のゴム印を押印してください！7月から12月までの通常練習を休まずに参加された方には皆勤賞があります。(サマーレッスン、合宿は対象外です。)

◆ 今後の予定

◎来週(8月4日)の練習会場は、今日と同じく視聴覚室です。

◎8月21日(日)サマーレッスン 中央公民館にて10時～16時 ⇒ 参加申し込み受付中です。

参加費は無料です。「栄寿亭のカツ丼+お茶」の昼食手配を希望する方は500円を添付。

◎8月21日(日)納涼祭(懇親会) 17:00頃から ⇒ 参加申し込み受付中です。

参加費3,500円で飲み放題 場所: Kitchen & Bar AIAI (アイアイ) 高崎駅東口側

◎11月12、13日(土・日) 合宿 武蔵野音大軽井沢研修所にて

◆ 新人団員のみなさんへ

第九演奏会へ向けての練習、要領は解ってきましたか？ 8月一杯までは今の中央公民館で練習です。♪練習の補足教材としてパート練習用のCDとテープがありますので、ご活用ください。

【第九練習用CD: 1,900円、テープはバスのみ: 1,500円】

また、「クリスマスメドレーⅢ」のパート練習用CDも指導の先生方のご尽力で発行予定です。

◆ハレルヤコーラスの練習が始まります

今日(7月28日)からハレルヤコーラスの練習も始まりますので、楽譜の準備をお願いします。
楽譜をお持ちでない方は受付にて750円で販売しております。

◆イベント情報

当団メンバーで「メンネルコール JOY」のメンバーでもある男声が、8月6日(土)日立市で開催されます「第22回関東お父さんコーラス in いばらき」で、女声の声援を受けながら歌ってきます。今年は、群馬県から唯一の参加です。

◆栄冠は君に輝く(作詞:加賀大介 作曲:古関裕而、Wikipedia より)---夏真っ盛りに聞く爽やかな歌

- (1) 雲は湧き 光あふれて
天高く 純白の球(タマ) 今日ぞ飛ぶ
若人よ いざ まなじりは歓呼にこたえ
いさぎよし 微笑む希望
ああ栄冠は 君に輝く
- (2) 風を打ち 大地を蹴りて
くゆるなき 白熱の力ぞ技(ワザ)ぞ
若人よ いざ 一球に一打にかけて
青春の 讃歌を綴(ツヅ)れ
ああ栄冠は 君に輝く
- (3) 空を切る 球の命に
かようもの 美しく匂(ニオイ)える健康
若人よ いざ 緑濃き棕櫚(シュロ)の葉かざす
感激を 睨(マタ)に描け
ああ栄冠は 君に輝く

「全国高等学校野球選手権大会」の大会歌であるこの詞は、主催者である朝日新聞社が全国から募り応募された5,252編中から、最優秀作品に選ばれた加賀の詞です。

当初作詞者は中村道子名義となっていたが、これはプロの文筆家で地元・石川で執筆活動をしていた加賀(当時の本名:中村義雄)が周囲から懸賞金(大賞賞金は5万円で、当時の公務員の平均給与の10倍以上であった)目当てと思われるのを嫌い自分の名前を伏せて婚約者の名前で応募したためであり、第50回記念大会(1968年)を機に加賀本人が作詞の真相を語り「加賀大介作詞」と改められました。そのころ、本名も中村義雄からペンネームの1つであった「加賀大介」に改名しています。

加賀は野球球児でしたが試合中の怪我による骨髄炎のために右足切断を余儀無くされ、野球を断念した経緯があり、この詞には野球に対する加賀の熱い想いが強くこめられています。

創唱歌手(発表当時のオリジナル)は、当時の名流行歌手である伊藤久男です。ちなみに伊藤は当歌の作曲者である古関裕而とは戦前からの深い付き合いである同郷(福島県)の友人同士で、戦前から歌謡曲・軍歌・戦時歌謡においても名タッグとして活躍しています。(2人の代表作は『イヨマンテの夜』、『暁に祈る』など)。

◆《一生懸命考えている時には暑さを忘れています。"ナンバープレース"は如何?》

縦の列、横の行、太線で囲まれたマス内に1~9の数字を1個ずつ入れてください。同じ数字をダブらせないで完成させてください。

第93回全国高校野球選手権群馬大会は最終日の27日、前橋市の上毛新聞敷島球場で決勝を行い、健大高崎が10-6で高崎商を退けた。健大高崎はノーシードからの初優勝。創部10年目で初めて決勝に進み、春夏通じて初の甲子園出場を決めた。【上毛新聞社】

(ナンプレファンより)
(出題:北野ひぐま)



	8				9			
			7					4
	6					2		
		5			7		3	
2								9
	3		6			4		
		9					5	
5					1			
			2				6	